

物理学第二分野 修士論文発表会ご案内

下記の通り、修士論文発表会を開催します。

日 時 平成29年2月2日(木)9時～

2月3日(金)9時～

場 所 理学研究科5号館 525号室

発表時間 15分+5分(質問)

※ 発表の順番、研究題目は下記の通りです。

2月2日(木)

1. LHC-ATLAS実験Run-3に向けた
ミューオントリガーの改良 赤塚 駿一(9:00)
2. ニュートリノ中性カレント反応精密測定のための
核子・酸素原子核反応に関する研究 芦田 洋輔(9:20)
3. 方向感度を持った暗黒物質探索のための
高圧キセノンガス中での再結合現象の研究 石山 優貴(9:40)
4. 次世代X線天文衛星搭載に向けた裏面照射型 SOI
ピクセル検出器の軟 X 線感度の改善 伊藤 真音(10:00)

5. すざく衛星による狭輝線セイファート1型銀河の広帯域観測 大村 峻一(10:20)
6. ^{11}B の2 α +tクラスター構造に関する研究 木村 燎平(10:40)
7. LEPS2実験に用いるTime Projection Chamber(TPC)の性能評価 小早川 亮(11:00)
8. 行列模型及び非可換幾何に内包される重力理論の探索 酒井 勝太(11:20)
9. (p, ^2He)反応を用いた π 中間子原子分光のためのイオン光学系の開発 阪上 朱音(11:40)

.....午 後.....

10. XeガスTPCを用いたニュートリノレス二重 β 崩壊探索実験AXELのための高エネルギー分解能読み出し回路の開発 田中 駿祐(14:00)
11. 次世代ガンマ線天文台CTA 大口径望遠鏡初号機搭載用GHz 波形サンプリング回路の性能評価 谷川 俊介(14:20)

12. 有限体積効果を用いたハドロン共鳴の複合性の研究 土田 裕次郎(14:40)
13. ドジッター背景時空上における赤外効果の統計的性質 徳田 順生(15:00)
14. 陽子内部におけるグルーオンの軌道角運動量の測定方法 中川 裕也(15:20)
15. 宇宙論解における重力的メモリー効果と時空の漸近的対称性 中谷 侑司(15:40)
16. T2K実験のためのJ-PARC MRにおける多電極ビームモニターの開発 中西 芳枝((16:00)

2月3日(金)

17. MeVガンマ線望遠鏡に向けた高エネルギー分解能MPPCシンチレーションカメラの開発 中増 勇真(9:00)
18. S-2S電磁石の磁場測定と運動量分解能 七村 拓野(9:20)

- 19 . Toward Fast Radio Burst Cosmology:Dispersion Measure Distribution 西岡 新平(9:40)
- 20 . LHC-ATLAS実験のミューオントリガーにおける飛跡再構成アルゴリズムの改良 野口 陽平(10:00)
- 21 . ニュートリノ反応測定実験に用いる高位置分解能 Scintillating Fiber Trackerの開発 平本 綾美(10:20)
- 22 . ホログラフィックQCDにおけるHダイバリオンの研究 松本 滉平(10:40)
- 23 . MAIKoアクティブ標的のアップグレードと性能評価 森本 貴博(11:00)
- 24 . Moduli stabilizationとPoly-instanton効果によるインフレーション 山本 順二(11:20)
- 25 . リングダウン重力波を用いた一般相対性理論の検証 山本 貴宏(11:40)

.....午 後.....

26. 運動学的スニヤエフ・ゼルドヴィッチ効果を用いた
宇宙論的ベクトルモードの検出可能性 山本 久司(13:00)
27. MeVガンマ線望遠鏡ETCCにおける新トリガー方式
の開発と不感時間削減 吉川 慶(13:20)